News Release　ヤマハ株式会社

2015 年 8 月 25 日

Web 会議用スピーカーフォンシェア No.1*のヤマハ新スピーカーフォン

ヤマハ ユニファイドコミュニケーションスピーカーフォン『YVC-300』

「YVC-1000」の高品質な音声処理技術を搭載、
スマートフォンの電話利用時にも使える「PJP-20UR」の後継モデル

ヤマハ株式会社は、高音質ユニファイドコミュニケーションスピーカーフォン『YVC-300』を、10 月初旬から全国で発売いたします。

＜価格と発売時期＞

品名	モデル名	色	本体価格	発売時期
ユニファイドコミュニケーションスピーカーフォン	YVC-300	ブラック	50,000円（税抜）	2015年10月初旬
ACアダプター	YPS-USB5VJ		4,800円（税抜）	2015年10月初旬
連結ケーブル	YCBL-DC3M		4,800円（税抜）	2015年10月初旬

＜製品の概要＞

当社は 2006 年から遠隔会議システム市場に参入し、「話しやすい」「聞きやすい」会話を実現する音声会議システム「Projectphone シリーズ」を販売してきました。
以来、高音質・高品質、豊富なラインナップや充実したサポートなど、高い評価を受け、国内の会議用マイクスピーカー市場においてシェア No.1*を確立しております。
当初は主に企業の遠隔会議（Web 会議・ビデオ会議・電話会議）システムを中心に展開してきましたが、2014 年には遠隔授業・講義・セミナーや遠隔相談会など、近年ニーズが拡大している会議以外の用途に対応し、音響設備やハンドマイクを使ったコミュニケーションにも対応するなど新しい音響技術を搭載した「YVC-1000」を発売しました。
今回発売する「YVC-300」は、4～6 名規模の会議室にて遠隔コミュニケーションを行うことを想定した「PJP-20UR」の後継モデルです。「YVC-1000」と同等の高品質の音声処理技術を搭載し、USB バスパワーのスピーカーフォンの中では最大クラスの音量を出力可能です。

＊（株）シード・プランニング調べ（2015 年 3 月）。

＜YVC-300 主な特長＞

1.「YVC-1000」で評価された高品質な音声処理技術を搭載

「YVC-300」には高性能の適応型エコーキャンセラーをはじめ、ヤマハが長年培ってきた音声処理技術を数多く搭載。マイクで収音した音から人間の声を高い精度で判定する技術 Human Voice Activity Detection (HVAD)をさまざまな音声処理に組み込むことにより、音声とノイズをしっかり仕分けして、「話しやすく」「聞きやすく」「疲れない」音声コミュニケーションを実現します。

Web 会議利用イメージ

【ヤマハの音声処理技術】

・ストレスなく双方向会話できる「適応型エコーキャンセラー」

スピーカーの再生音を、マイクが拾うことで発生するエコーを除去。20kHz までの音声を処理し、よりスムーズな双方向会話を実現します。

・発話者を自動で追尾する「マイク自動追尾」

話者位置検出機能により、声の方向を自動で追尾。物音には反応せずに、人の声のみをとらえて収音します。

・マイクに近い人と遠い人の音量を調節する「オートゲインコントロール」

マイクで収音した大きな音も小さな音も、最適な大きさに調整。マイクからの距離や声量の違いによって生じる通話先での音量差を低減します。

・ノイズを消して声だけを伝える「ノイズリダクション」

プロジェクターやエアコンなどから発生する定常的なノイズがある場合でも、マイクで収音した音声からノイズ成分を除去します。

・声が響きやすい空間でもクリアに伝える「残響抑圧」

部屋の特性に起因する残響成分を抑圧処理。残響が多い空間でも、通話先にクリアな音声を届けます。

2. 音量は「PJP-20UR」の 2 倍、USB バスパワーとは思えないほどの「大音量」を実現

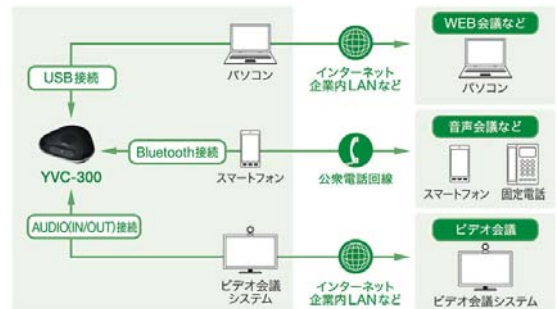
「YVC-300」は USB バスパワーによる電源供給ながら、瞬間最大音量 91dB、再生周波数帯域 190～20000Hz を実現、「PJP-20UR」と比べて聴感上 2 倍の大音量になりました。音の大きさ＝聞こえやすさ、伝わりやすさとなり、6 名程度の会議にて、しっかりメッセージが伝わり、ストレスのないコミュニケーションが可能になりました。

3. PC・スマートフォン・ビデオ会議システムなどと自在に接続できる、フレキシブルな接続性

PC ベースの Web 会議では、USB 接続。スマートフォンの電話回線を使った音声会議は、*Bluetooth*®接続[*1]。ビデオ会議システムとは、AUDIO 接続（オーディオ入出力端子）[*2]。3 つのインターフェースを搭載しており、デバイスや会議システムの種類を問わずフレキシブルに接続することができます。また、これら 3 種類のオーディオ入力ソースを同時に使用した場合は、オーディオミキサー機能により、異なるサービス間での相互通話が可能です。

さらに、NFC も搭載しており、NFC 対応のスマートフォンやタブレットなら、複雑な操作や設定をしなくても簡単に *Bluetooth*®接続を行うことができます。

＊1 広帯域のオーディオコーデック（mSBC）に対応しています。

＊2 ステレオミニ端子です。

音声会議利用イメージ

ビデオ会議利用イメージ

4. オプションの連結ケーブルで連結が可能、10 名規模の会議でも安心して使用できます

オプションの連結ケーブルを使用することで、もう 1 台の「YVC-300」と連結できます。10 名規模の会議にも対応可能です。
連結利用時には、オプションのケーブル「YCBL-DC3M」とACアダプター「YPS-USB5VJ*3」が必要です。

＊3 連結された「YVC-300」の電源供給用。

2 台を連結して 10 名規模の会議にも対応

5. どこでも簡単に使える

手軽に持ち運ぶことができ、PCとUSB接続するだけで利用できるので、設備のない部屋でもすぐに遠隔会議を開始することができます。さらに「YVC-300」が周囲の環境に合わせて自動的に音響設定を最適化するため、どこでも快適な遠隔会議を行うことができます。

オープンスペースにて、タブレットと Bluetooth 接続した Web 会議利用のイメージ

持ち運びイメージ

＜YVC-300 主な仕様＞

総合	外部インターフェース	USB 2.0 Full Speed、Bluetooth、NFC（近距離無線通信）、 オーディオ入力端子（ステレオミニジャック）、オーディオ出力端子（ステレオミニジャック）
	最大消費電力	2.5W
	電源	USB バスパワー駆動：5V/500mA、AC 電源駆動：AC100（50/60Hz） ※AC アダプターは別売りです。
	電波障害規格	VCCI クラス A
	動作環境条件	温度：0～40℃、湿度：20～85％（結露しないこと）
	寸法	235（W）×46（H）×226（D）mm
	質量	0.8kg
	対応 OS	Windows 10（32bit/64bit）、Windows 8.1（32bit/64bit）、Windows 8（32bit/64bit）、 Windows 7（32bit/64bit） Mac OS X 10.10、Mac OS X 10.9、Mac OS X 10.8 USB：USB 2.0 以降
	Bluetooth	Bluetooth　バージョン：Ver.2.1+EDR 対応プロファイル：HFP(1.6)、A2DP 対応コーデック：CVSD、mSBC、SBC 無線出力：Class2 最大通信距離：10m（障害物がないこと）
	NFC	対応機種：NFC 対応 Android 機器　Ver5.0、4.4、4.3、4.2、4.1
	付属品	USB ケーブル（3m）、取扱説明書（保証書含む）
	その他	ファームウェアアップデート(PC より USB で転送)
オーディオ	マイク	単一指向性×3
	スピーカー	フルレンジ×1
	音量	瞬間最大 91dB（0.5m）
	周波数帯域	収音：100Hz～20,000Hz、再生：190Hz～20,000Hz
	信号処理	適応型エコーキャンセラー、ノイズリダクション、マイク自動追尾、オートゲインコントロール、 残響抑圧
オプション	AC アダプター	品番：YPS-USB5VJ 定格入力：AC100V　50/60Hz 定格出力：DC5V　1A
	連結ケーブル	品番：YCBL-DC3M ケーブル長：3m 端子形状：ステレオミニ×2　-　ステレオミニ×2

「YVC-300」を 2015 年 9 月 30 日（水）～10 月 2 日（金）　東京ビッグサイトにて行われる
ITProEXPO　（http://expo.nikkeibp.co.jp/itpexpo/2015/）に出展します。

※文中の商品名・社名等は、当社や各社の商標または登録商標です。

ヤマハ　ユニファイドコミュニケーションスピーカーフォン『YVC-300』

本体価格 50,000 円（税抜）

※YVC-300 の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。

http://jp.yamaha.com/news_release/

【製品情報】

ヤマハ　ユニファイドコミュニケーションスピーカーフォン『YVC-300』

http://jp.yamaha.com/products/communication/

この件に関するお問い合わせ先

ヤマハ株式会社

■報道関係の方のお問い合わせ先

広報部　　宣伝・ブランドマネジメントグループ

窪井、千葉

〒108-8568　東京都港区高輪 2-17-11

TEL　０３－５４８８－６６０５

FAX　０３－５４８８－５０６３

ウェブサイト　http://jp.yamaha.com/news_release/

（取材申し込みや広報資料請求が可能です。）

■一般の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社

音声コミュニケーション機器お客様ご相談センター

TEL　０３－５６５１－１８３８

FAX　０５３－４６０－３４８９

ウェブサイト　http://jp.yamaha.com/products/communication/